

令和3年 千葉市議会第2回定例会



熊谷市長退任の日花束贈呈

神谷市長就任後、初の定例会となる「令和3年第2回定例会」は、本市において「まん延防止等重点措置」が、会期中中に7月11日まで延長される中、令和3年6月4日(金)開会いたしました。また開会にあたり、全国市議会議長会より永年勤続議員表彰の伝達があり、同期の議員とともに在職10年の表彰状をいただきましたが、千葉市議会議員として10年活動していただいたのも、市民の皆様のお支えがあつてのことと心から感謝申し上げます。

初日は、会期の決定、大都市制度・市制100周年調査特別委員長報告、超高齢社会調査特別委員長報告、議案第59号から議案第73号・発議第2号上程(提案理由説明)と続き、閉会後は各会派に分かれての議案研究となりました。6月7日(月)午前中は、議案研究が終了していない会派は議案研究を行い、午後からは議長辞職にもなう議長選挙が行われました。また、新議長が選出されるまでの議事や幹事長会議等の会議を私が進行することとなりました。新議長が選出された後、副議長の辞職願を提出させていただき、翌8日(火)には副議長選挙が行われ新副議長が選出されました。9日(水)には、常任委員・特別委員等の選任、千

元気発信！花見川！

【主な役職】

立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／千葉県後期高齢者医療広域連合協議会監査／都市建設委員会委員／大都市制度・基本計画・市制100周年調査特別委員会委員／花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川中学校評議員委員／花見川小学校評議員委員／ニュー花見川ショッピング自治会会長

だんぎ和彦 市議会 レポート

かず ひこ

葉市監査委員の選任等が行われ、10日(木)・11日(金)には交渉5会派による代表質疑が行われました。

6月14日(月)には、新たなメンバーによる常任委員会の案件審査が行われ、私の所属する都市建設委員会は第2委員会室において、4件の議案審査及び所管事務調査の年間テーマについて協議いたしました。16日(水)から22日(火)にかけては一般質問が行われ、23名が登壇いたしました。

最終日となった6月23日(水)は13時間開議となり、提出された議案・

発議・請願について書面による委員長報告・討論・採決が行われ、専決処分2件の補正予算議案は承認、当初提出された議案はすべて可決、発議及び請願はすべて否決となりました。続けて、追加議案である新型コロナウイルスワクチン接種、困窮者支援、いじめによる賠償金支払いの補正予算及び人権擁護委員推薦の人事案件が審査され、追加補正議案につきましては可決、人事案件につきましては同意となりました。最後に、発議となる千葉市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正・千葉市議会会議規則の一部改正につきましては可決、議員提出の意見書も可決となり、令和3年第2回定例会は閉会いたしました。

新型コロナウイルスワクチン 接種の現況について

本市においては6月20日(日)までとされていた「まん延防止等重点措置区域指定」が、今定例会中に7月11日(日)まで延長され、改めて新型コロナウイルス感染症対策が必要であると感じるところです。

2月中旬の医療従事者の接種から始まり、新型コロナウイルスワクチン接種が進められておりますが、高齢者への接種券送付が始ま

った4月中旬から5月にかけては、「予約が取れない」「電話がつながらない」などのお問い合わせを多数いただくなど、予約に当たり混乱を招き、市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことに心よりお詫び申し上げます。

現在は、集団接種会場を増やすことによる接種体制の拡充や、多くの民間病院においてご協力いた

だくことにより、少々予約を取ることが容易になったと聞いておりますので、現在も予約できない方がいらっしやいましたらご連絡いただければ対応させていただきます。

本市においてのワクチン接種対応につきましては、今年1月15日(金)に医療政策課内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」が、国が示すスケジュールに沿って進められるよう設置され、2月からは医療従事者への接種が始まりました。続いて、4月12日(月)から高齢者施設での接種が開始され、5月から高齢者の接種が本格的に実施されたところで、6月24日(木)からは64歳以下の方々への接種券送付が順次始まります。

今後も、希望される方へのワクチン接種につきましては、スムーズに行われるよう関係所管に働きかけて参ります。

今定例会に提出された 議案・発議について

今定例会に市長より当初提出された議案は15件(専決処分を含む補正予算議案4件・条例議案10件・一般議案1件)、発議1件、請願が2件であり、今回の補正予算規模は58億5,500万円で、新市長による政策的判断を要する施策などを計上する「肉付け予算」となります。

専決処分の2件は、病院局の医療機器更新、経済農政局の県との連携による飲食店感染防止対策認証モデル事業であり、補正予算全般においては、ワクチン接種の対象者の拡大やPCR検査等の実施継続などの「新型コロナウイルス感染症対策」、第3子以降の学校給食費無償化や民間保育園等使用済紙おむつ処理費助成等の「子育て・教育施策」、がん患者支援や女性のためのつながりサポート等の「市民生活・市民活動の支援」、ハイブリッド型MICE開催促進や就職氷河期世代就労支援等の「産業振興」、先進農業者就農支援プログラムや農業法人参入促進等の「農業振興」、その他にも災害対策や鉄道駅バリアフリー化の推進などが盛り込まれております。

条例議案は、東日本大震災復興交付金事業として実施した液状化対策事業が令和2年度に完了したことに伴う条例の廃止や心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正など、条例の廃止や一部改正について、一般議案は、幕張新都心拡大地区新駅前広場等整備工事(3-1)の工事請負契約について、発議は、高齢者補聴器購入費助成条例の制定について、請願は第1号・第2号とも子ども医療費に関するもので、議案についてはすべて承認・可決、発議及び請願についてはすべて否決となりました。

また、最終日に提案された補正予算議案・人事案件の追加議案、条例・規則の一部改正の発議、議員提出の発議(意見書)につきましてもすべて可決・同意となりました。

花見川区の諸問題について



制水門がある汐留橋付近

(1) 河川の防災体制について

昨今、台風や豪雨による河川の氾濫、住宅地の浸水が報道されており、花見川区検見川町にお住まいの方より花見川の防災体制について、現況はどのように計画されているのかお問い合わせがありました。また、幕張町方面からその方がお住まいの地域にかけて、緩やかに低くなっていることも懸念されています。

基本的に、河川につきましては千葉県千葉土木事務所との管理となっているため、本市の建設局下水道建設部都市河川課を通して、県への問い合わせをしていただいたうえで、その対策について確認し協議いたしました。

花見川の正式名称は「印旛放水路」で、上流の印旛沼から新川へ、大和田機場を通り高津川や勝田川の支流と合流しながら、花見川区・美浜区を経て東京湾へと流れております。

まず、花見川の高潮対策につきましては、潮の干満の影響を受ける花見川下流部の護岸については、最下流部の区間は旧企業庁による埋め立て造成に併せて高潮護岸整備がされており、国道357号から上流に向かって、田園地帯が広がり両岸が一番低くなる汐留橋付近にある防潮機能を有する長作制水門までの区間については、高潮対策の整備区間として計画高潮位以上の護岸の高さを有しているとのことです。

ただ、今後につきましては世界的な天候・気候の変化等、温暖化による自然環境の急変、激甚災害の増加などもあり、想定外が増えている状況のため、千葉県において想定しうる最大規模の降雨により、花見川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示す氾濫想定図を、今年度作成することです。

(2) 道路の安全について

花見川公民館から花見川小学校の通用門前を通り花見川団地方面に向かう道路は、急な下り坂から上り坂になっており、公民館側、団地側双方から自転車がスピードを出して下りその勢いで上り坂をあがっていく様子がよく見られますが、自動車が



花見川小学校通用門近くの坂道・改修された排水口

すれ違えるくらいの道幅であり、路肩に排水口があり大きくくぼんでおりました。このくぼみに自転車が接触し、転倒によりけがをされた方も少なくないとのことでした。民生委員さんからもこの件についてご連絡をいただいております。花見川・稲毛土木事務所を確認していただき、排水口の部分がフラットになるよう改修していただきました。

また、団地側の路肩につきましてはURさんの敷地となるため、排水口に枯葉が詰まる件も含め、土木事務所よりURさんに申し入れていただくこととなっております。

さて、皆様の地域においてお困りごとやご要望はありませんか？だんぎ和彦は地域の諸問題に取り組んでおります。地域の多くの方々が抱えている問題・課題を「花見川区の諸問題」として、市議会やレポート等において取り上げ、検討・対応させていただきますいております。

ぜひ、一緒に考えましょう！

皆様からのご意見・ご相談・お問い合わせをお待ちしております。

千葉市議会副議長退任にあたって

平成31年4月7日投票となつた統一地方選挙による改選後、元号が令和となつた5月7日には初登庁式が行われ、5月15日・16日にかけて「令和元年第1回千葉市議会臨時会」が開催されました。この初日である15日に正副議長選挙が行われ、千葉市議会第74代副議長を仰せつかることとなり、今議会に至るまでの2年間務めさせていただきました。



副議長就任時あいさつ

ない、生活様式や働き方等も変わり、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に代表されるように、様々なイベント等が中止・延期になるなどの混乱を招きました。こうした中においても、千葉市美術館のリニューアルオープン、新庁舎新築工事起工式、市制施行100周年を迎えた令和3年1月の記念式典などは挙行され、3月21日には千葉県知事選挙・千葉市長選挙が同日投票で行われ、千葉市の100年を締めくくっていただいた熊谷市長が千葉県知事となり、神谷新市長が誕生し、次の100年に向けての歩みがスタートいたしました。

副議長就任以来、微力ではございましたが大過なく職責を全うすることができたのは、岩井前議長、議員の皆様、議会事務局の皆様、熊谷前市長・神谷新市長はじめ執行部の皆様、そして何より市民の皆様のお支え・お力添えがあればこそこの2年間であったと心から感謝申し上げます。



副議長退任の日に、左から川口副市長・神谷市長・岩井議長・本人・鈴木副市長

今期、議員としての残り2年の任期も、千葉市議会の一員としてしっかりと活動して参る所存ですが、コロナ禍により経済などが疲弊している今こそ、公益をモットーとして、個の利益ではなく多くの皆様に利益を生み出す「他利」の精神を持って市政全般に取り組みたいと思っております。皆様には今後ともご指導・ご鞭撻いただければ幸いです。